

「生涯活躍のまち」推進のための県レベルでの取組事例

(1) 管内の市町村の取組の実情把握

■市町村との情報共有等の場の設定

- 『北海道「生涯活躍のまち」推進ネットワーク』の設置 (H29.7~)。取組の推進意向があるまたは検討中などの市町村に向けた情報提供及び全体会議での取組状況の共有・意見交換の実施。【北海道】
※開催実績：H29.9、H30.3
- 県、市町村、民間団体等で構成する「秋田版生涯活躍のまち推進協議会」を設置し、情報・意見交換等を実施することにより、県内の取組状況等を把握。【秋田県】 ※開催実績：H29.8、H30.1
- 市町村職員向け勉強会の開催。【長野県】
※開催実績：H28.9、H29.1
- 伊豆半島地域において、「伊豆半島生涯活躍のまちづくり推進協議会」を設置して、伊豆半島地域内の市町と情報共有。【静岡県】
※開催実績：H29.12、H30.3
- 市町村や事業者、大学等からなる庁外会議「『ゆかりの徳島』里帰り戦略会議」を平成設置し、本県ゆかりの高齢者の受入れ環境の整備に関する課題及びその解決策の検討等を行うとともに、「生涯活躍のまち」の推進についての意見交換・情報共有を実施。【徳島県】 ※開催実績：H30.3

(3) 管内の市町村への財政支援

■財政支援

- 生涯活躍のまちに取り組む県内市町村が、基本計画の策定や策定に向けた事業化可能性調査等の補助（「山形県生涯活躍のまち事業化推進事業費補助金」。補助率1/2・上限100万円）【山形県】
※支給実績：1団体（H29年度）
- 新たに生涯活躍のまちに取り組む市町村があった場合、モデルプラン作成に係る経費を支援【鳥取県】 ※支給実績：2団体（H27年度）
- 「生涯活躍のまち」を推進するため、申請のあった美馬市及び海陽町に対し、「徳島版『地方創生特区』」の指定を行い、財政支援を実施【徳島県】 ※支給実績：2団体（H29年度）
- 市町村構想策定に要する経費への補助（補助率10/10・上限250万円）【高知県】 ※支給実績：2団体（H28年度）

(2) 管内の市町村への情報等支援

■県レベルでの取組指針・マニュアル等の策定

- 『生涯活躍のまち』に関する取組指針を策定 (H29.3)。【北海道】
 - 「秋田版生涯活躍のまち構想」を策定。【秋田県】
 - 『徳島型CCRC・生涯活躍のまち』マニュアルを策定 (H28.3)。【徳島県】
 - 『長崎県CCRC（生涯活躍のまち）基本指針』を策定 (H28.11)。【長崎県】
- ### ■先進事例、取組モデル等の情報提供
- 道内外の取組を紹介するメールマガジンを発行。【北海道】
 - 県、市町村、民間団体等で構成する「秋田版生涯活躍のまち推進協議会」で、先進事例等の情報提供とともに、意見交換等を実施することにより、市町村の取組を支援。【秋田県】
 - 伊豆半島における3つのモデル事業を支援。モデル事業の取組や県内外の先進事例調査の結果をパンフレットや事例集としてまとめ、情報提供することにより、市町村の取組を支援。【静岡県】
 - 平成28年度に、県、市町村による研究会を開催。移住に関する意識調査や先行事例調査等を行いながら、「生涯活躍のまち」の課題や方向性を整理し、市町村に対して取組のモデルを提示。【愛知県】
 - 平成28年度に市町村と大学、金融機関、社会福祉協議会等で構成する、「大分県CCRC研究会」を設置。地域への経済波及効果や事業モデルの検討を実施。【大分県】

(4) その他

■都市部でのPR

- 移住フェアにおける「生涯活躍のまち」ブースの出展。移住フェア（北海道暮らしフェア (H29.10 大阪、H29.11 東京)）等において、道及び道内市町村の取組を紹介するなどのPRを実施。【北海道】
 - 生涯活躍のまち移住促進センターに取組町（湯梨浜町、南部町）のブースを出展。県外向けの情報発信を実施。【鳥取県】
 - 東京・大阪等で市町村と連携した移住交流イベントを開催。【徳島県】
- ### ■担当コーディネーターの配置による支援
- 全道コーディネーターを配置。取組推進上の疑問や課題に対し電話等での相談対応、助言のほか、現地意見交換会を実施。【北海道】

注）平成29年度「生涯活躍のまち」に関する意向等調査（内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局実施）において、「生涯活躍のまち」に関連する取組について、『既に取組を開始している』と回答した道府県に対する追加調査の主な回答を整理。なお、※は取組を実施した直近年度の実績を記載。